

学校だより



平成29年度 第32号

下野市立南河内中学校
発行者 日下田 英彦
H29. 12. 18

12月の俳句 さむざむと日輪あそぶ冬至かな

飯田 蛇笏

12月も残すところ10日余り、来週は冬休みの週に入ります。きびしい寒さの日が続きますが、生徒の欠席が少なく、元気に登校する生徒が多いことに自分もパワーをもらっています。生徒達は、冬休みにも健康に留意し、変わらぬ生活となると期待しています。また、冬休みは家族で過ごせる時間が多くとれます。家族団らんのよい機会と考え、普段はなかなか話すことのできない日本の伝統や風習、我が家のルーツや親戚とのつながり、そして将来についてなど、ゆっくりと話してみたいはかがでしょうか。

そして、保護者の皆さまにとって今年はどうな年だったでしょうか。このあとに迎える平成30年がますますすばらしい年となりますように、お祈り申し上げます。

1 新入生保護者説明会

12月12日(火)に新入生保護者説明会を行いました。新入生やその保護者の皆さんは入学に不安があることもあります。本校の概要や中学生の生活を理解してもらうことも目的ですが、なにより、中学生といっしょに授業に参加してもらうことで、不安の解消につながります。

1部では、生徒会の本部の皆さんが、ていねいでわかりやすい説明を行い、2部では小中合同授業を行いました。中学生も、1年前、2年前を思いだし、先輩らしい態度で小学生にやさしく接していました。

2年3組と吉田東小、吉田西小との理科の授業では、普段経験できないマイナス100℃を下回る液体窒素の実験を行い貴重な体験を喜んでいました。

2 1年理科校外学習

12月14日(木)、1年生は理科校外学習としてつくばエキスポセンターに行ってきました。科学技術に関する体験型の施設で、いろいろな実験や体験ができます。

1年生に話を聞くと、人間の体を包む大きさのしゃぼん玉やテレビ番組でよくとりあげられる空気砲なども体験でき、スタッフの方がていねいに説明してくれたそうです。また、水力発電や、風力発電などいろいろな発電の仕組みも詳しく学習できたそうです。

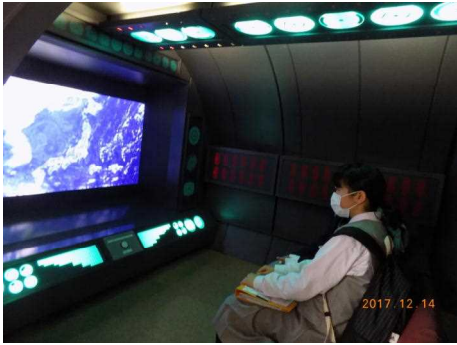
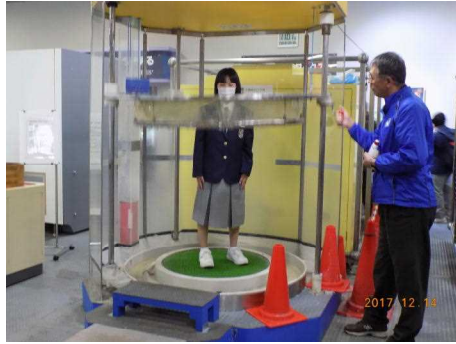
この経験を生かして、身近なものにも、「なぜなんだろう」、「どうしてなんだろう」と疑問をもち、自分で考え、解決できる力が身に付くことを期待します。



新入生保護者説明会の授業
左：国語 中：英語

右：理科





前ページ下段より理科校外学習での体験の様子



学級ごとに記念写真

3 S&U コラボ事業 1年2組 数学研究授業 (平塚先生)

12月13日(水)に、S&U(下野市と宇都宮大学)コラボ事業として、宇都宮大学の日野先生をお迎えして、研究授業を行いました。1年2組、数学、平塚先生の授業で、今までの図形の学習を利用して、いろいろな方法で「 75° の角を作図しよう」という課題でした。答えを教えてしまえば簡単ですが、課題を、まず自分でしっかりと考え、グループを利用して教え合うことで、思考力を高めることがねらいです。生徒達は50分の授業いっぱい、いろいろな考え方を試していました。放課後は全教職員で授業研究会を行い、日野先生からも指導をいただきました。今後も、指導力の向上、授業力の向上を目指し、研修を深めていきます。

